

議会だより (報告会特集号)

平成31年 3月

あっさぶ

No. 103

題字は、厚沢部保育所 たんぼぼ組の^{しんぼおんな}新保杏奈さんです。



写真～上段：館地区、中段：鶉地区、下段：厚沢部地区



STOP!! ジャガイモシストセンチュウ

～日本一のブランド「あっさぶメーカーイン」を守ろう!～

議会報告会を開催

平成31年1月23日、24日、25日の3日間、町内3地区（館・鶉・厚沢部）で開催した議会報告会について、各会場で寄せられたご意見等をお知らせします。

町民向けの議会報告会は今年で7回目となり、3会場で61名の出席がありました。

冒頭、鈴木議長が開会の挨拶をした後、両常任委員会が今年度実施した所管事務調査について結果報告を行い、その後、議会や町に対する意見・要望が出されましたのでその要点をお知らせします。



館地区 23日 館地域振興 センター

●館中学校の活用についてどのように考えていますか。

回答 太陽光発電に校舎を活用する案などありましたが、実現にはいたっていません。

●地方創生での補助金の使途を教えてください。

回答 上里の移住交流体験住宅の整備やアンテナショップの運営費などに使われています。

●空き家問題についてどのように考えていますか。

回答 過去に空き家調査が行われましたが、空き家の数が増えていると思うので、町に取組みを進めるよう伝えます。



●公営塾の運営はどのように行われていますか。また、今後の運営方法について教えてください。

回答 中学3年生を対象として英語・数学を中心に5教科を指導しています。また、1、2年生については冬期講習が実施されました。指導対象を広げるために、講師の確保等が検討されています。

●閉校後の館中学校のグラウンドが雑草だらけです。使用されていない手入れしてほしいです。

回答 ご要望は町に伝えます。

●国保病院が多額の繰入金を受けて運営されていますが、診療所にする考えはありますか。

回答 診療所にしても交付税が少なくなるため、町の負担は変わりません。町民が安心して暮らすためには病院は必要だと思えます。



回答 給食の量はカロリー計算を基に決められています。

議会から教育委員会へご意見は伝えますが、配食された給食量で調整してもらい、どうしても足りないようであれば学校に相談していただきたいと思えます。

●認定こども園が4月に開園されますが、保育士は確保されていますか。

回答 各保育所の保育士が幼稚園教諭免許をすでに取得しているので、開園に向けた保育士確保の準備はできています。

●保育料が無料になるという話を聞いたのですが。

回答 2019年10月から国が3歳以上の幼児保育無償化を実施します。2歳以下については検討段階であり、町では国の動向を注視しています。

●中学校の送迎バスの乗降する場所が生徒の家の前から横断歩道の近くに変更になったそうですが。

鶉地区 24日 鶉地区多目的 研修センター

●学校給食について、子どもが量が少くないと言っているのですが。

回答 バスの反対車線側の家に生徒を降ろすため、右折待ちをしている時に、後続車にあおられたことがあります。安全のため横断歩道の近くで乗降するように変更した箇所がいくつかあります。

● 中学校の送迎バスの乗車時間が早すぎるのではないのでしょうか。

回答 広範囲を回るため仕方ない部分がありますが、ご意見は教育委員会に伝えます。

● 太鼓山スキー場のリフトがかなり老朽化していますが、更新しないのでしょうか。



回答 スキー場を開設する前に点検・整備・安全確認をして、現状の設備を継続して使用することになっています。

● ちょっと暮らしし住宅について、いまだに移住者がいません。整備事業には税金が使われているので一人でも多く移住者を増やす努力が必要だと思います。

回答 移住には結びついていませんが、ちょっと暮らしをするにより、リピータの確保や知名度のアップにつながったと思います。

● ふるさと納税について、返礼品の農産物を確保できず、発送できなかったことや、中身が傷んでいたなどのトラブルがあったようですが、厚沢部町の信頼を失わないために議会で議論してほしいです。

回答 納税者一人ひとりに謝罪しており、今後、担当者・代理店ともに不備がないように十分注意することです。



厚沢部地区
25日
町民交流センター
あゆみ

● 以前に中学生議会を要望したのですが、その後の進展を教えてください。

回答 町に要望しましたが、いまだ実現にはいたっておりません。

● まちづくり座談会が4月の町長選挙を控えているという理由から開催されませんか。

たが、町長選挙の有無に関わらず開催するべきだと思います。

回答 新しく選ばれた町長が6月に政策予算を決定するため、それより前に要望を聞くことは慣例的に行っていません。

● 認定こども園の送迎バス路線に危険な交差点や街灯がない道路があるので道路の改良等の対策を講じてほしいです。

回答 道路の改良等、町と検討していきます。



● 赤沼町にふれあいサロンができましたが、鶉地区や館地区にもそのような取り組みが広がってほしいと思います。

回答 町と相談していききたいと思います。

● パークゴルフ場の機械設備がかなり老朽化しているのを更新してほしいです。

回答 議会にも要望書を出していただきたいと思います。

● 議会の映像や音声の貸出しをしてほしいです。

回答 可能であれば議会の傍聴に来ていただきたいと思います。

● レクの森を維持管理・整備するために、専門的な知識を持ったコーディネーターを配置するべきだと思います。

回答 ご意見は町へ伝えます。

● 公営塾について、中学1・2年生も対象にしてほしいです。

【回答】 教室や講師の確保などの課題について検討する必要があると思います。



小学校の統合について

鶉・厚沢部地区から小学校の統合についての意見がありましたので、各参加者・議員の意見を掲載します。

参加した町民から

【賛成】

●生徒の数が多ければ多いほど学力向上やスポーツの振興がはかれるため、統合した方がいいと思います。

●中学校統合・認定こども園は小学校統合を前提として進められたのではないのでしょうか。認定こども園でできた友達と離れたくないという子どもの視点から考えると、小学校も統合するべきだと思います。

【反対】

●中学校も保育所も厚沢部地区に集約され、地域に子ども姿が見えなくなりました。統合によって鶉・館地区の人口が減り、活気がなくなると思うので統合には反対です。

議員から

【賛成】

議員A 中学校統合は地域の声を聞いて、十分時間をかけて行われました。その結果、急速な人口減少の影響を受け、全校生徒数はそれほど多くはなりません。そうならないためにも、統合へ向けて先行して計画していかなくてはならないと思います。

議員B 子どもたちには教育環境をしっかりと整備したうえで、最高の教育を受けさせてあげたいです。そのために統合が必要なのであれば、中学校・保育所が一つになったことも考え、早めに統合に向けた話を進めるべきではないかと思っています。

議員C 中学生の中には小学校から一緒にあれば良かったという声があるので、統合したほうがいいかと思っています。

【反対】

議員D それぞれの小学校に独自の特色や良さがあることや、地域の実情に合った活動をしていることから、統合するべきではないと思います。厚沢部地区に全て集約するべきではないと考えます。

議員E 小規模学校であっても問題ないと思います。中学校が統合したことにより各地区で開催されなくなった行事もありです。小学校がなくなれば、鶉・館地区が衰退してしまうので統合するにはまだ早いと思います。

議員F 各地区の了解を得たうえで統合を進めるべきであり、まだ早いと思います。

議会ホームページをご覧ください！

議会報告会当日に配布した

議会概要及び所管事務調査報告（総務・産業）を掲載しています。

厚沢部町のホームページから移動するか、「厚沢部町議会」で検索してください。

厚沢部町ホームページアドレス

[Http://www.town.assabu.lg.jp](http://www.town.assabu.lg.jp) → 「厚沢部町議会」へ！！



編集後記

私は「古希」を過ぎて親以上に長生きをしている自分を生んでくれた親に感謝を覚える歳となりました。改めて自分ということ振り返ってみたいと思います。

自分一人（同じように考えても良いと思います。）は、果たしてどこまでやさしくできるものでしょうか。自分にやさしくは、やさしさではないと思います。それは自分のことが一番愛おしいからです。では、他人にやさしく出来ますか、そこには人には「煩惱」というやっかいな物を生まれながら持っているのです。人から目鼻をとると「煩惱」しか残らないと言われるほど人は「煩惱」のかたまりです。しかし、これは悪いことではなく、人が人として生かされている姿ではないでしょうか。人は他人に迷惑を掛けなければ生きられない、生きていけないのです。変わらない、変わらないこの身がここにあるのです。この大切（大事）なことに気付くことが出来ない、これが人の本当の姿ではないのでしょうか。それでは、「幸せ」とは、よそにあるのではなく、今まで当たり前にしていたことが、いかに幸せなことであったか気付かせて頂くことだと思います。（はま）

議会広報編集特別委員会

委員長 松村 松雄

副委員長 只野 勲

委員 浜塚 久好

委員 下川部洋伸